

園評価表

評価段階 (A:たいへん良い B:よい C:あまりよくない D:よくない)

今年度の重点	自己評価の総評	園評価	改善策 (来年度の具体的な取り組み)
幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解している	・理解しているかとなると自信がないという回答が多かったが、今年度は研修の機会も多く学びもあったと思われる。	B	・まだ、しっかり理解ができているとは言えないので、個人的に理解するだけでなく、研修を通して職員全体で理解するようにしていきたい。

理念、基本方針、教育・保育目標について

項目	自己評価の総評	園評価	改善策 (来年度の具体的な取り組み)
理念を理解している	・理念等、常に目にはしているが、しっかり理解しているとは言えない。	B	理念等、見直しをかける時期にきているので、様々な意見を出してもらい、園に合った理念、基本方針、教育目標を設定したい。
基本方針を理解している	〃	B	〃
教育・保育目標を理解している	〃	B	〃

教育・保育について

項目	自己評価の総評	園評価	改善策 (来年度の具体的な取り組み)
指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	・子ども一人一人の姿を把握しながら、またクラス全体の実態を考えながら作成した。 ・昨年度中に年間の指導計画は見直しをかけたため、実態に即したものになっていた。	A	・今年度も反省し見直して、次年度の計画を作成していきたい。 ・今年度は第三者評価も受けたので、その結果を踏まえ作成していきたい。
環境の構成を意識した教育・保育や過程を常に工夫しているか	・環境については、同じ遊具・玩具を繰り返し使うなどすることで、子どもたちの遊びがマンネリ化してしまうことがあった。	B	・人的環境の大切さを再度認識し、保育者がその子、その場に合った環境となるようにしたい。 ・計画している研修内容には、環境構成も入っているので、職員全体で学んでいきたい。
素材・用具を適切に活用しているか	・未満児クラスは職員が、以上児クラス特に年長クラスでは子どもたちが、素材・用具を工夫して活用することができた。	A	・素材・用具の整理をし、活用しやすいようにしていきたい。 ・既成の玩具・遊具だけにとらわれず、保育者の個性を活かした構成を心がけていく。
評価結果を基に、教育・保育の改善に努めているか	・昨年度の園評価・自己評価を基に改善に努めた。	B	・次年度は、第三者評価の結果も踏まえ改善していきたい。

日時程

項目	自己評価の総評	園評価	改善策 (来年度の具体的な取り組み)
1日の流れ(デイリープログラム等)は現行で良いか	・全体のプログラムは良いと思うが、年齢やクラスの実態にそぐわないこともあるのではないかと	C	・全体的又は年齢に合ったプログラムになっているのか再度話し合い、スムーズな流れを考えていきたい。

行事について

項 目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
行事の種類や実施回数は適切か	・行事は一つ一つ意味があり子どもの刺激となるものだったが、回数はやや多すぎると思われる。 ・子どもたちから出た活動の流れを遮ってしまうこともあった。	B	・再度、行事のねらいや意義などを考え、本当に必要と思われる行事のみ残すと共に新たに必要な行事はないか探っていききたい。
行事のねらいを計画や実施計画に十分生かしているか	・行事は一つ一つ意味があり子どもの刺激となるものだったが、回数はやや多すぎると思われる。 ・子どもたちから出た活動の流れを遮ってしまうこともあった。	C	・行事のねらいを十分理解し把握した上で、計画したり、実施したりできるようにしたい。
計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	今年度は、計画が見直しししっかりとしたもだったため、スムーズに実施につながり、評価や改善もしっかりできていたように感じる。	B	・今年度も、一年間の評価・反省を踏まえて改善に努め、次年度もしっかりした体制での流れにもっていきやすいようにしたい。特に計画をしっかりしたものにした。
保護者の願いや意見を取り入れているか	・日頃から保護者の要望などをよく聞くと共に、保護者会役員会や三者協議会などでの意見を受け、良い意見や要望は取り入れていくようにした。 ・取り入れるものよく吟味した。	B	・保護者の願いや意見はできるだけ取り入れたいが、園として譲れない確固たる部分はしっかり残していきようにしたい。 ・保護者の数も多いため、真逆の意見が出ることも頻繁なので、園としての考えをしっかりと持ち対応していききたい。

運営・組織

1 分掌・体制

項 目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
能率的、合理的な運営組織になっているか	・まだ、職務分担が不十分であり、一人一人がスムーズに動けていないこともあり、能率的ではなかったように思われる。	C	・園全体のことに職員全体で目を向け、出来ることには率先して取り組むことはもちろんのことだが、職務分担を明確にすることで自身の役割には特に責任をもって取り組めるようにしたい。
職員の配置は適材・適所か	・職員の休みが頻繁になることが多いクラスもあり、他の職員に助けをもらうことが多かった。	C	・幼い子をもつ職員や介護が必要な家族がいる職員などは、休み機会も多くなるかと思われるので、偏りのないクラス編成となるよう考慮したい。 ・得意分野を活かせるような配置も考えていく。
係や仕事の分担・割り当ては適切か	・仕事量や仕事内容が人によって偏りがあると感じるとの意見があった。	C	・仕事量や内容に偏りのない分担となるよう配慮したいが、自分の仕事以外にも目を向け、率先して協力できるような体制も構築していききたい。

2 運営

項 目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
各種会議を適切かつ効率的に進めているか	・都度会議や研修を実施することができ、短時間でも実のある話し合いができたと思う。	A	・保育時間が長いことから、会議や研修の時間を設けることは容易なことではないが、短時間でも効率よく行えるよう工夫していききたい。
職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなくこども園の運営に関わっているか	・全体的に協力体制はできていると思われるが、まだ、人任せになってしまうこともあり、職員間で不満が出ることもあった。	B	・一人一人それぞれの立場から、より良い園運営について話し合える機会を設けていききたい。 ・人任せになることのないよう、協力体制を強化していききたい。

3 年齢別運営

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
年齢別目標は、教育・保育目標に基づき設定しているか	・年齢別目標は見直しをかけ、教育・保育目標に基づいたものとなっている。	A	・次年度に向け見直し、今の状況に合ったものとなるようにしたい。
年齢別目標は、乳幼児の実態に則して設定しているか	・年齢別目標は見直しをかけ、教育・保育目標に基づいたものとなっている。	A	・現在の実態に基づき、再度目標を見直し実態に即した設定をしたい。
同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	・2クラスあるみのり組は、合同で保育を行うことが多く、交流を図ることができた。また、以上児クラスはお互い行き来し、一緒に活動するなど、職員間での共通理解がしっかり図られていた。	A	・同年齢間での活動の充実は図りやすいが、異年齢との交流は職員間の協力や意思疎通が大切になるので、十分な話し合い、打ち合わせができるようにする。
評価、資料（諸記録）を集積しているか	・記録は各種集積している。	B	・集積したものが、きちんと整理されていないものもあるので、今後しっかり整理し分かりやすくしておきたい。

4 保健・安全指導

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
年齢別運営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか	・今年度も、看護師からの指導が毎月あり、その時期にあった指導がなされていた。また、各クラス、年齢に合った感染症対策などが行っていた。	A	・今後も看護師からの指導を基に、年齢に合った保健対策を講じていきたい。また、引き続き保護者への啓蒙も、コドモンなどを通して行っていきたい。
避難訓練・交通安全指導を、計画に基づき適切に実施しているか	・計画に基づき、毎月実施した。消防署員、警察署員から指導もいただき、子どもたちへの意識付けとなった。	A	・次年度も、毎月の実施の中で外部の方からの指導もいただき、しっかりと安全への意識が持てるようにしたい。
健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	・看護師からのお便りの配信や園でより等での配信により、家庭にも啓発を行った。	B	・まだ、発信回数や内容など不十分と思われることもあるので、例えば同じ内容でも、繰り返し配信、発信することで意識づけとなるようにしたい。

情報について

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか	・保管場所を決め、適正に扱っている。 ・書類などは無闇にコピーしないようにしている。	A	・人の目につくような場所に置いたり、持ち出したりしないようにし、常に保管場所に収めるよう徹底する。 ・保管場所を職員にしっかり周知する。
公文書収容、発送、処理を適切に行っているか	・作業の分担をし、責任をもって適切に行っている。	B	・今後も適切に処理できるよう、分担した役割を再認識し責任をもって遂行していく。

施設・設備

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検は毎日行っていたが、週一回とし、修繕箇所や危険箇所気付いた職員から情報を貰うようにした。複数の目で見ることによって様々な発見があった。 昨年度、業者の点検が入ったので、より安全が確保されているように思われる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度同様、週一回の点検を行うと共に、職員全体で意識して危険箇所等の発見に努められるようにする。
遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか	<ul style="list-style-type: none"> 年度始、整理整頓したが、遊具・用具を使った者が、元の場所に納めないということも多く、乱雑になりがちだった。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 再度活用しやすいよう整理し、使ったときは必ず元の場所に戻すということを徹底させたい。
不審者等に対応する周到な配慮を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> 不審者に対する訓練は行ったが、門や玄関の施錠など対応の方向性が曖昧になってしまった。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 外部の方の園内への出入りが頻繁であるため、門や玄関の施錠については様々な方法で対応してきたが、適切な対応がまだ定まっていないので、引き続き検討していく。
掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものは掲示するようにしてきたが、掲示したものが目につきにくかったり、日にちが過ぎたものを取り忘れていたりということがあった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> まだ検討の必要あり。見る人が分かりやすい場、見やすい掲示の仕方を工夫していきたい。

出納経理

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか	<ul style="list-style-type: none"> 適切に処理されていた。 入園児からの会費の徴収、退園児への返金なども適正に行われていた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度同様、適正かつ適切に処理できるよう努めていく。

開かれたこども園づくり

1 小学校との連携

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> お互いの施設において参観し、その後懇談を行い子どもたちの情報を共有することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 1回ずつしか実施できず不十分さを感じたので、次年度は複数回実施できるよう、小学校に働きかけたい。
日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に情報を交換してはいなかったが、交流活動は行うことができ、子どもたちへの刺激となった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 1回ずつしか実施できず不十分さを感じたので、次年度は複数回実施できるよう、小学校に働きかけたい。 アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムについて、指導計画を基に接続していくことができるよう検討していく。

2 家庭・地域社会との連携

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	<ul style="list-style-type: none"> 奉仕作業、団子さし、豆まきと時期や季節に合った行事等でお世話になることができた。 裏山の活用への保護者参加は実施できなかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 声をかけていただいた活動は、できる限り受け入れ世話になりたい。より良い活動となるよう内容等は園でも検討し伝えていく。
(乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会と交流しているか	<ul style="list-style-type: none"> 園側から地域に働きかけて交流するようなことはなかった。昨年度の反省が活かされず残念だった。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 園外に出る時（散歩・ハロウィンパレード等）に地域と関わられるような方法がないかを探り、少しでも交流することができるようにしたい。
地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	<ul style="list-style-type: none"> 参加できるような行事がなく、実施できなかった。 	D	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も情報の収集にあたり、参加できる行事がないか検討する。

3 子育て支援の推進

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか	・広報、ホームページ等発信し開放している。	C	・発信が弱く利用者が少なかったため、興味、関心が湧くようなプログラムを立て実施したい。
「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	・特別な学習の機会を設けることができなかった。	D	・学習の機会を設けても、保育参観などと抱き合わせないと集まらないので、時期や内容を十分検討する。
職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか	・相談があった時はできるだけ丁寧に対応した。	B	「子育て相談」は対応がほぼ園長なので、複数で対応できるようにしたい。
医療機関、児童相談所等に専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	・子育て支援課からいろいろ情報をいただけたのは大変参考になり、保護者にアドバイスすることもできた。児童相談所とも連携が図れていた。	A	・医療機関とはあまり連携が図れていなかったため、感染症の感染状況や対応の仕方など情報をいただいたりして、積極的に連携を図っていきたい。

4 情報の発信

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
こども園だより・クラス通信、ホームページ等でこども園の情報を発信しているか	・園だより、ホームページ等で発信しているが、もう少し充実させてほしいとの意見もあった。後半は担当が担任になったことで、仕事量の多さ故に、頻繁には配信できなくなってしまった。	B	・コドモンからの配信は少しずつ充実してきていると思われるが、ホームページからの発信が薄いので、どのような情報が必要かを取捨し、充実させていきたい。
行事や子育て支援事業等を、地域の広報誌や小学校等に対して周知しているか	・広報等では周知しているが、学校等に直接周知するような機会は少なかった。	B	・すべてにおいて発信が弱いので、広報やホームページ以外でも発信できることを考えていく。

5 外部評価

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
第三者評価を導入し、こども園運営に反映しているか	・今年度は導入しご指導いただいた。指導いただいたことは少しずつ反映させている。	B	・年度後半の導入だったため、まだ反映しきれていない部分があるので、今後も指導いただいたことを念頭に園運営に活かしていきたい。また、職員にも十分周知する。
地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	・地域の意見、声を耳にする機会はなかったが、保護者からの意見は、良し悪しを判断した上で取り入れるようにしている。	B	・地域の声なども探り参考にしていきたい。・保護者からの意見、要望には引き続き耳を傾け、できるだけ取り入れていきたい。